

画像解析、表示

1. バックグラウンド領域の設定
2. レシオ分析
3. 表示の変更

FRETデータ解析

1. バックグラウンド領域の設定

手順：ROIの作成

- ① 「ライフサイエンス応用ツールバー」からROIの形状を選択



①

- ② 取得したRatio画像のバックグラウンド領域にROIを作成



②

2. レシオ分析

手順：レシオ計算の設定

- ① 「ライフサイエンス応用ツールバー」から「レシオ分析」を選択

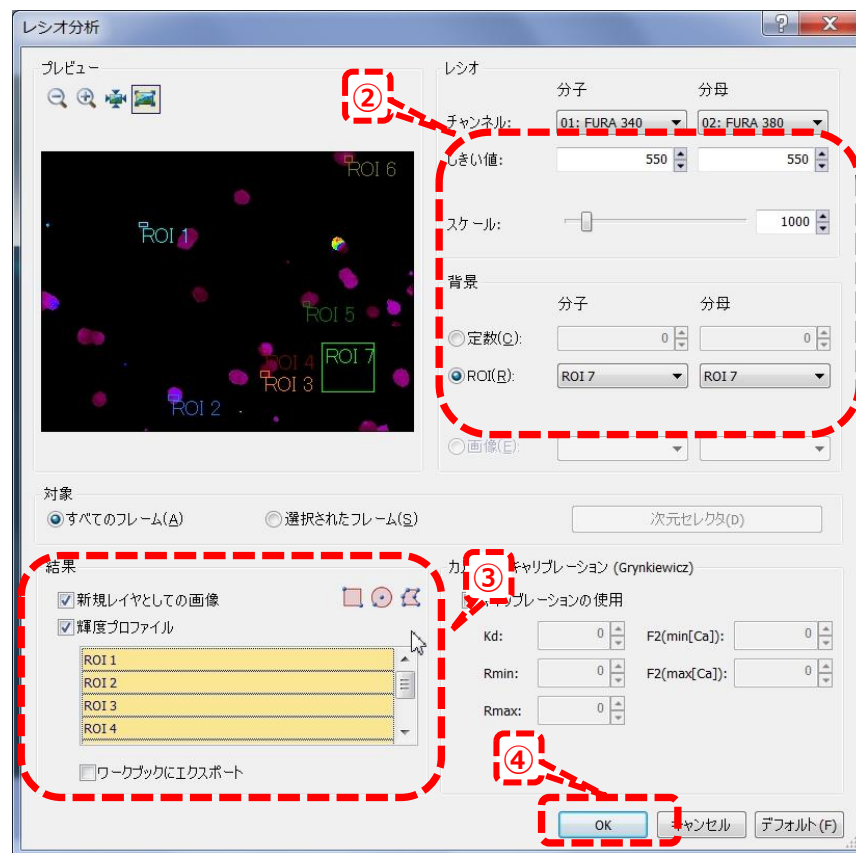


- ② 各パラメータを設定

しきい値： しきい値以下の輝度が0となる
スケール： 「**1000**」
背景： ROIを選択し、バックグラウンドに
設定したROIを選択

- ③ 「新規レイヤとしての画像」、「輝度プロファイル」に
チェックを入れ、グラフを表示させたいROIを選択

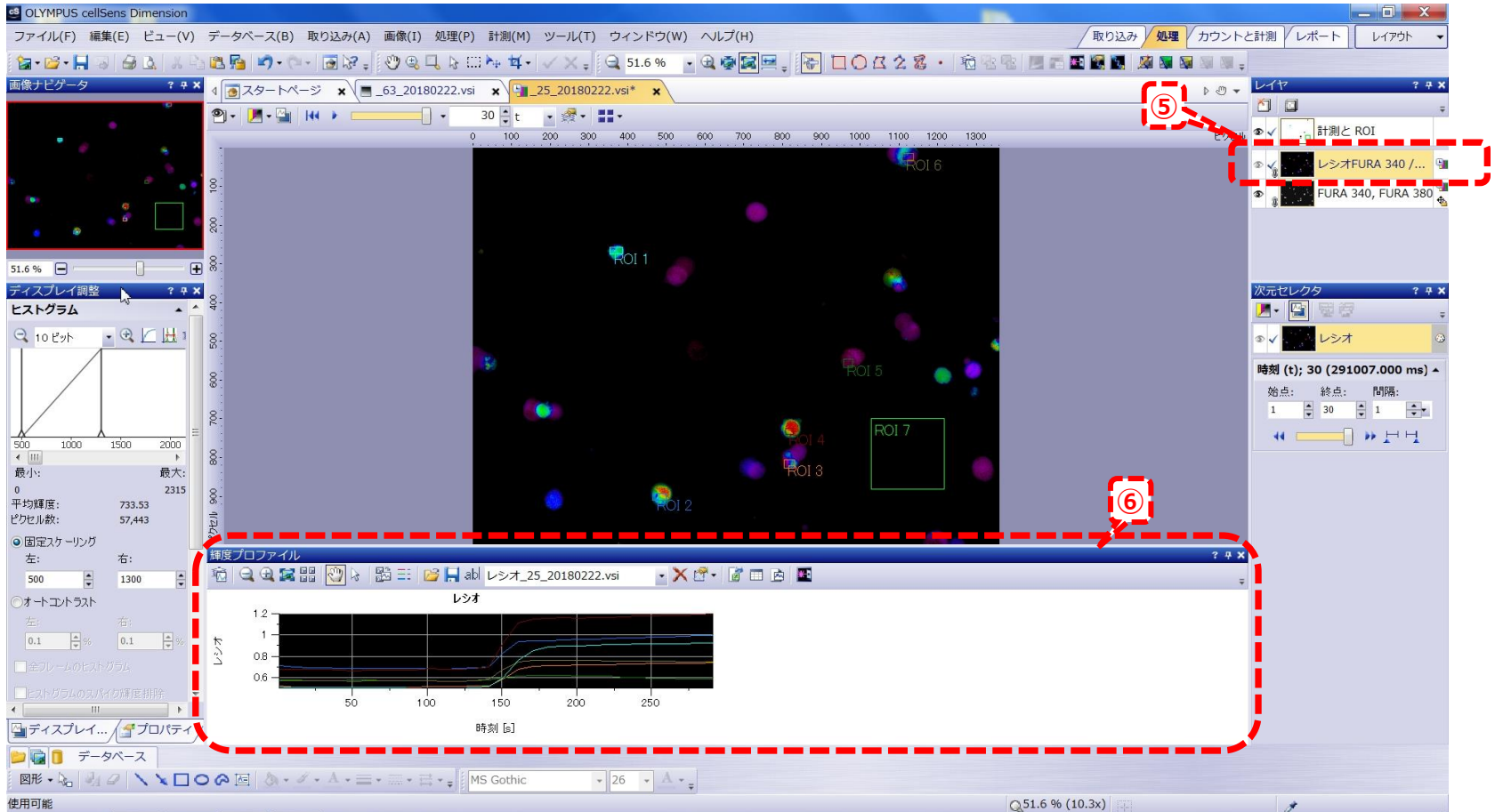
- ④ 各項目の設定後に「OK」ボタンをクリック



2. レシオ分析

手順：レシオ計算後

- ⑤ レイヤ欄に「レシオ画像」が追加され、レシオ画像を表示
- ⑥ 画面下部に「輝度プロファイル」の結果グラフを表示



3. 表示の変更

手順：レシオ画像の表示形式の変更

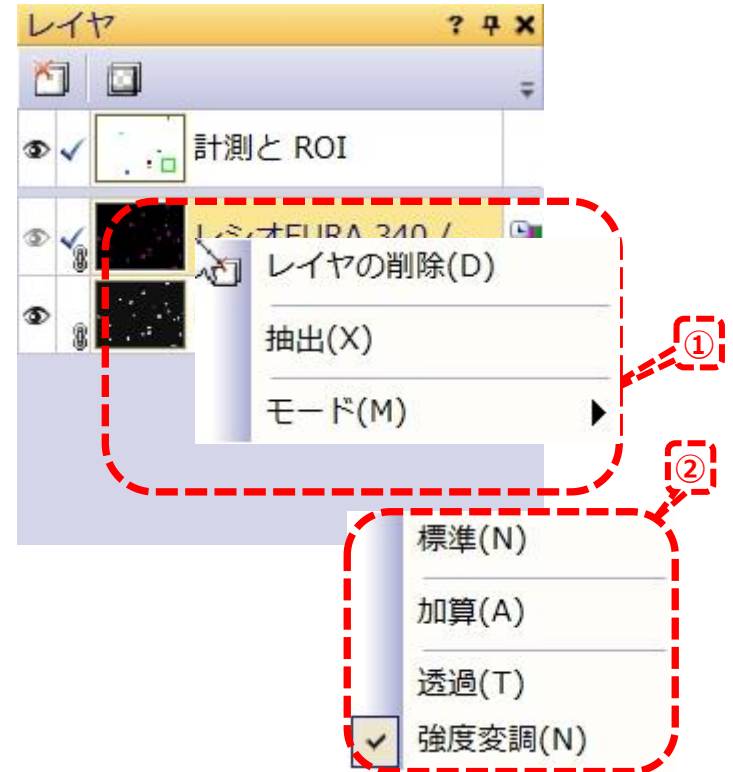
① レイヤ欄の「レシオ画像」を右クリックして「モード」を選択

② レシオ画像の表示形式を選択

標準： レシオ画像のみを表示

強度変調： 蛍光画像の輝度を参照して、
レシオ画像を重ね合わせて表示

※「加算」、「透過」はレシオ画像では使用しない



3. 表示の変更

手順：レシオ画像の表示レンジの変更

① 「ディスプレイ調整」で「固定スケーリング」を選択

② 表示レンジのレシオ値を**1000倍**した値を入力

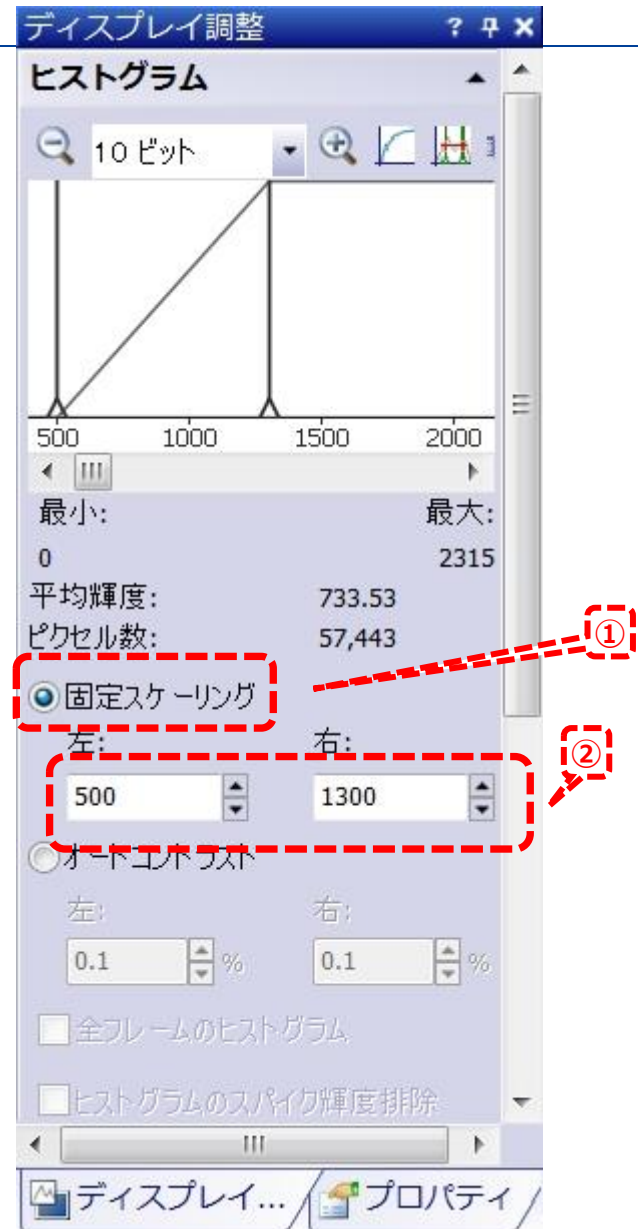
【例：レシオ値0.5～1.3】

左： 500

右： 1300

推奨

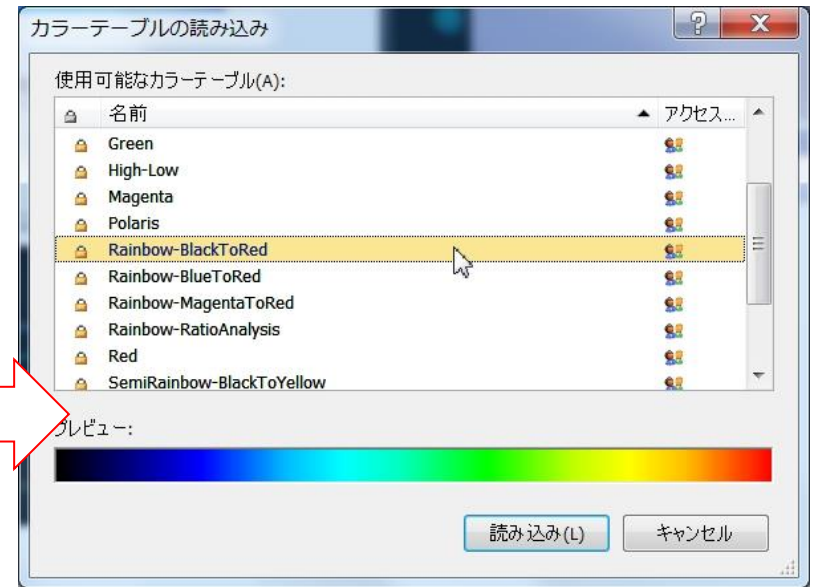
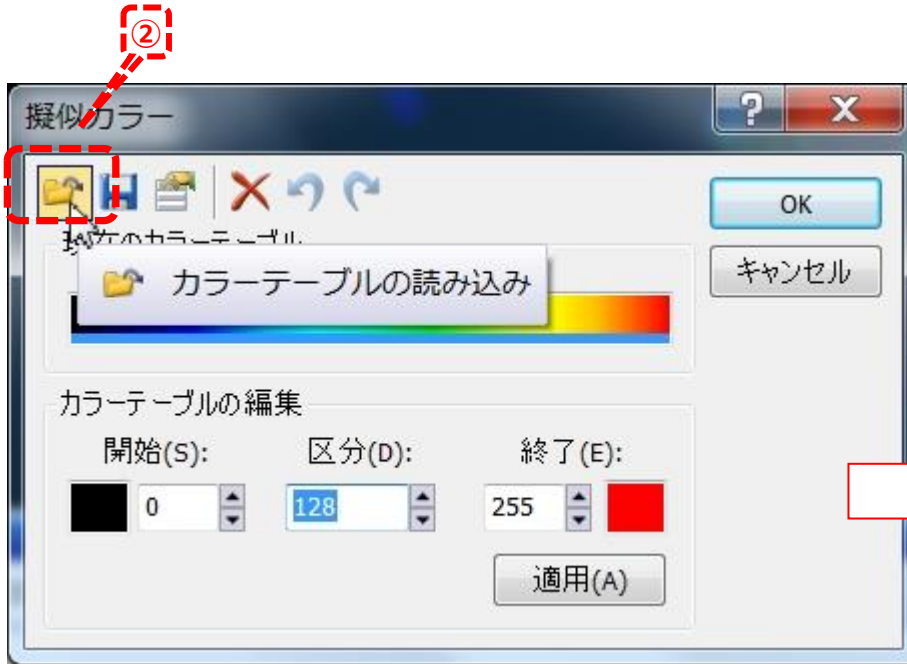
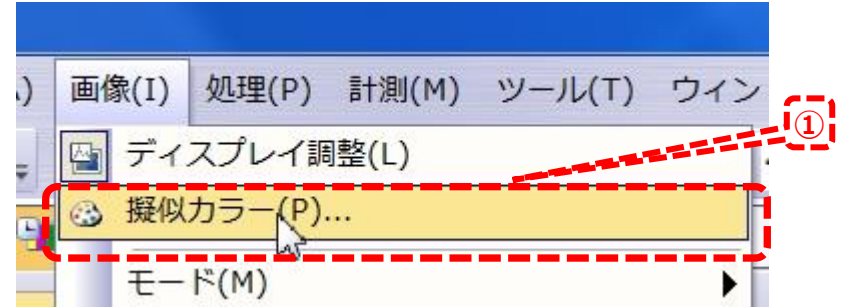
輝度プロファイルのグラフを参照に、上限、下限を設定



3. 表示の変更

手順：レシオ画像の擬似カラーの変更

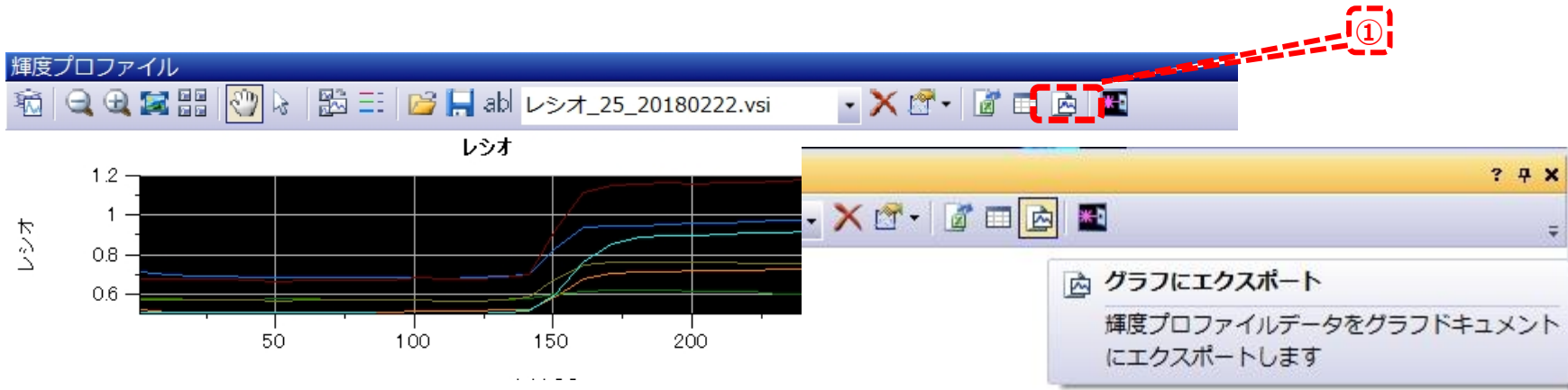
- ① メニューから「画像」で「擬似カラー」を選択
- ② 「カラーテーブルの読み込み」をクリックして
擬似カラーテーブルを選択
推奨：Rainbow-BlackToRed



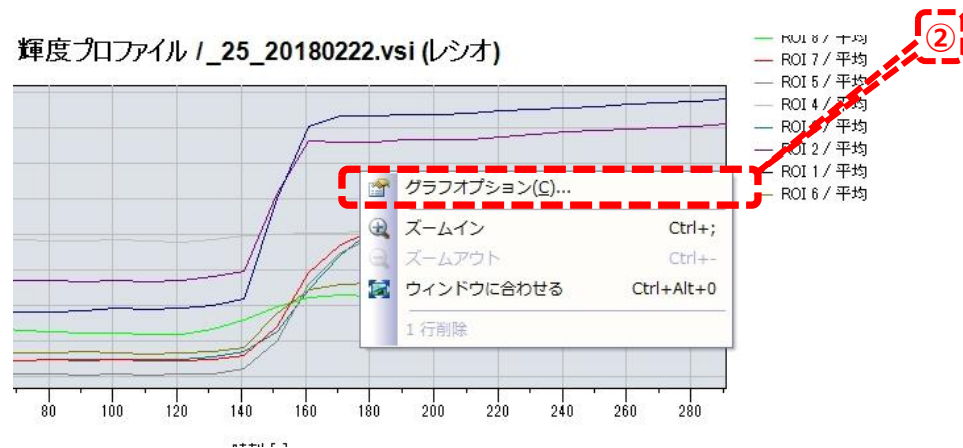
3. 表示の変更

手順：グラフカラーの変更

- ① 「輝度プロフィール」結果グラフ上部の「グラフにエクスポート」をクリック



- ② 表示されたグラフ上で右クリックし、「グラフオプション」を選択
- ③ 「色」、「タイトル」、「凡例表示のON/OFF」などを設定



※このグラフをJPEG・TIFFなどで保存可能です。